



農地中間管理事業における水土里情報システムの活用について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネット宮崎

取組概要

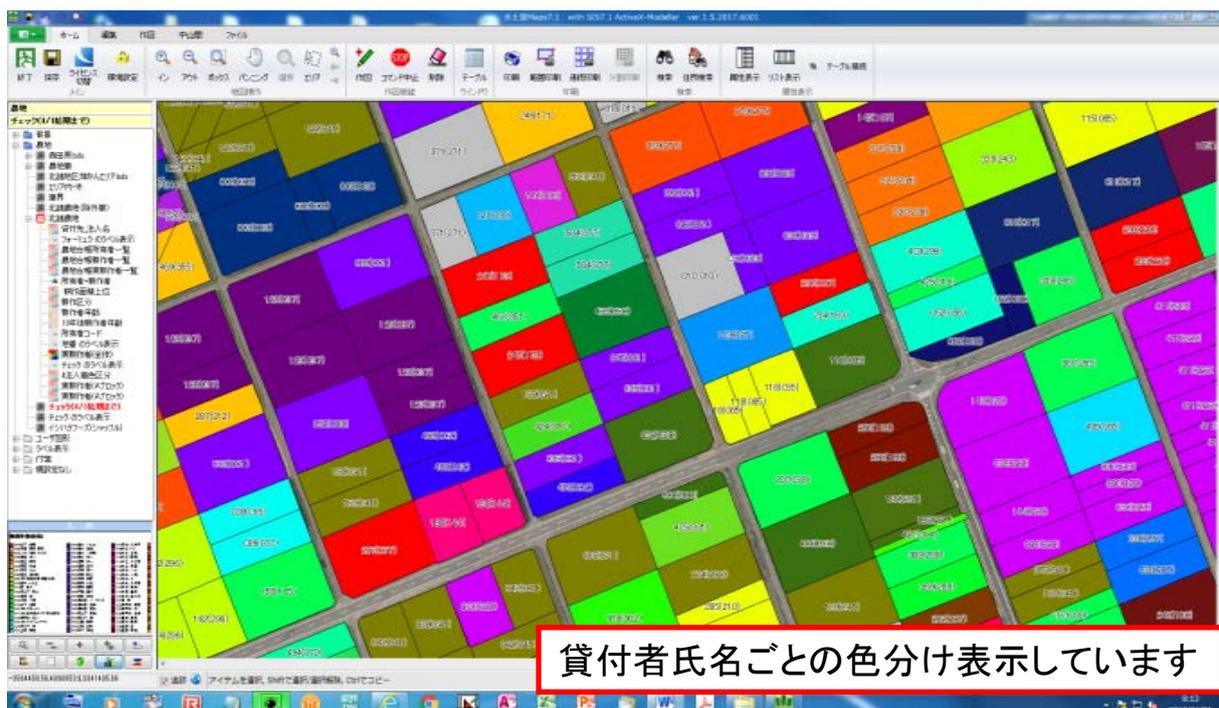
内容: 農地基本台帳や耕作状況・所有者年齢等の農地情報を水土里情報システムの筆ポリゴンに突合、取り込むことにより、農地の集積・集約化に必要な基礎資料等(所有者農地分布図・所有者年齢分布図等)を作成できるシステムを構築。

経緯: ① 農地基本台帳だけでは、地図上で視覚的な農地の状況把握が困難であったことから、農地中間管理機構から県土連に水土里情報システムを活用して、地図上で把握したいと依頼があった。

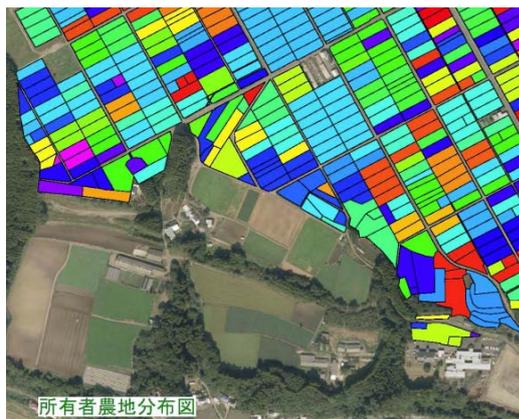
② 水土里情報システムに取り込む情報は、毎月更新を行うことで、常に最新のデータを反映させた。

③ 取り込んだデータから、所有者農地分布や所有者年齢分布等を色分けして画面上に表示することで、最新の農地の現状を視覚的に把握することが可能となり、農地の集積・集約化の検討が、より効率的となった。

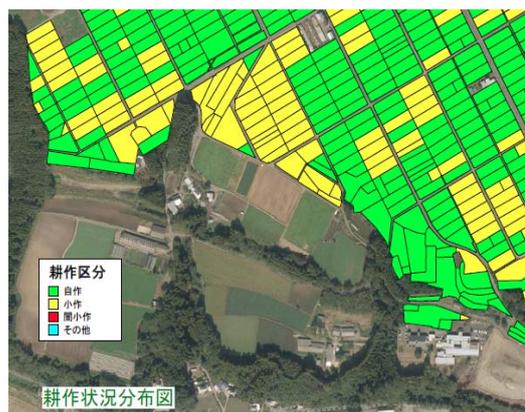
システム画面



所有者農地分布図



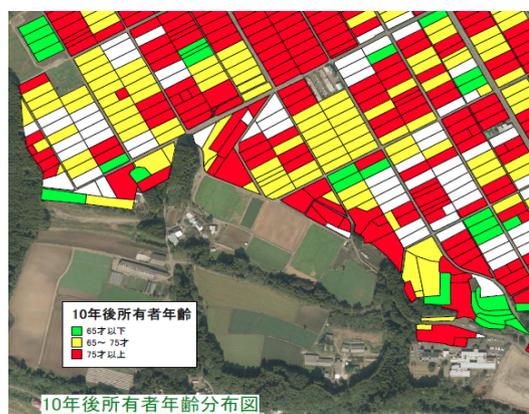
耕作状況分布図



所有者年齢分布図



10年後所有者年齢分布図



期待される効果

- ① 地域の農業の現状を水土里情報システムを活用して、地図上で容易に最新の情報で把握することが可能。
- ② 今後の営農計画や集積計画の基礎資料として活用され、農地の集積・集約を促進し、地域農業の維持・発展へつながる。

今後の活用予定

蓄積された最新のデータを関係機関、団体等と情報共有することにより、農地の集積・集約化について、一体的な取り組みを図っていく。

GISシステムのバージョン情報

GISエンジン : SIS7.1SR3
 GISアプリ : 水土里Maps7.1 Ver1.5

■お問い合わせ先

宮崎県土地改良事業団体連合会 総務部会員支援課 0985-24-3050(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕・沖) 03-6744-2201(直通)